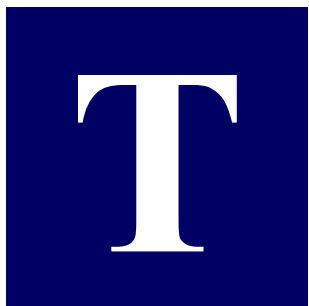
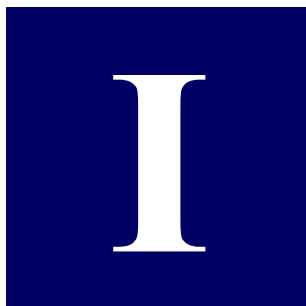


農

業



ITがきり拓く新しい農業

農林水産省委託IT研究プロジェクト「データベース・モデル協調システムの開発」成果発表会

農林水産省研究プロジェクト「データベース・モデル協調システムの開発」では、近年発展著しいITを農業現場で真に役立つものとするために、農学・工学・情報科学の研究者の力を結集して要素技術を開発すること、それらの要素技術をインターネットを最大限活用することで結びつけ、実際の現場でも利用できる農業ITシステムを開発することに取り組んできました。

本研究発表会では、現場情報収集ロボットや生産計画支援システムなど、次世代の農業技術の基盤となりうる成果とそれらの現場での活用状況を、広く一般の皆様にご紹介し、未来の農業を展望するために開催します。

【開催日時】 2005年11月28日(月)10時から17時

【開催場所】 東京・秋葉原コンベンションホール(秋葉原ダイビル5階・会議室5B): 秋葉原駅から徒歩1分

【プログラム】	10:00-10:40	10:45-12:15	13:15-14:00	14:00-14:40	14:00-17:00	
	プロジェクトの基本コンセプトと未来技術の展望	デモセッション ー最新の研究成果を研究者自らが10分ずつ紹介しますー ●畑や温室の情報を効率的に収集する フィールドサーバ ー畑を計測し、見張るー ●生産者・流通・消費者を結びつける 携帯電話による生産履歴とトレーサビリティ VIPS特許と農産物情報のユビキタス化 ●大量のデータを分かりやすく整理・分析する 露地野菜の適地適作を支援する 農業技術体系データベースによる営農支援 施設植物生産を支える応用ソフトウェア 水産にも応用される研究成果 ●膨大な文章情報を意思決定に役立てる 電子メールを宝の山へ 膨大な文章から知識を引き出す ●ばらばらの情報を結びつけ連携させる データベース・モデル協調システムの実現	二宮正士(中央農業総合研究センター) 平藤雅之(中央農業総合研究センター) 菅原幸治(中央農業総合研究センター) 杉山純一(食品総合研究所) 吉田智一(近畿中国四国農業研究センター) 南石晃明(中央農業総合研究センター) 星岳彦(東海大学開発工学部) 大関芳沖(水産総合研究センター・中央水産研究所) 木浦卓治(中央農業総合研究センター) 森辰則(横浜国立大学環境情報研究院) 二宮正士(中央農業総合研究センター)	プロジェクトに連携した農業現場から ー農業現場などでのIT活用のモデルを提案しますー サイファーズ ー十勝農家の挑戦ー 和歌山マルドリミカン園 田園都市IT化構想	プロジェクトにおける産官学連携の展開 ー産官学連携の活用例を紹介しますー 大学が取り持つ産官学連携 連携ベンチャー企業の取り組み 国のIT施設「電農館」の産官学利用	パネル展示

¹独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構

【主催】 農林水産省 農林水産技術会議事務局, 独)農業・生物系特定産業技術研究機構 中央農業総合研究センター

【参加申し込み】 会議の総合インフォメーションページ(<http://zoushoku.narc.affrc.go.jp/DataModel/>)にある登録ページより事前登録をお願いします。ネットワークが利用できない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。発表会への参加は無料です。

【事務局】 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究開発部
独)農業・生物系特定産業技術研究機構 中央農業総合研究センター 農業情報研究部

お問い合わせ先: 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究開発課 鈴木
TEL. 03-3501-0966 FAX. 03-3593-7227 E-mail. kiyosuzu@affrc.go.jp